

平成27年度 アカデミー推進計画進行管理表（平成26年度実績）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	文化振興
-----------------------	-----	--------------	-----	------

アカデミー推進 計画における分野	3 文化芸術
---------------------	--------

分野別の目標	1 だれもが文化芸術に親しむことのできる機会の充実
--------	---------------------------

1 現状と課題

- ① 鑑賞する機会を充実させることが、文化芸術の振興において重要な鍵となります。
- ② 文化芸術活動を楽しむ区民のさまざまなニーズに対応するために、参加の機会を増やすことが求められています。
- ③ 区内にあるさまざまな歴史的資源にふれるなど、地域の伝統や歴史に親しむ機会を増加させることが求められています。
- ④ さまざまな状況にある人が、文化芸術活動に親しめるようにしていくことが求められています。

2 基本的な方向・取組状況

基本的な方向・取組状況	取組状況結果資料ページ
(1) 鑑賞の機会と場所の提供・充実	1
(2) 参加・創造・成果披露の機会と場所の提供・充実	2
(3) 地域の伝統や歴史に親しむ機会と場所の提供・充実	3
(4) だれもが鑑賞・参加しやすい仕組みづくり	7

3 評価対象事業

事業名	事業の概要
①文の京ゆかりの文化人顕彰事業	顕彰の対象は、その年度が記念の年（生誕、没後等）にあたる文化人を中心に行う。文化資源担当室においては、朗読コンテスト、歴史講座（講演会）、史跡めぐり等の事業を企画、開催する。また国外記念館のミニ展示、文化事業係における企画展、観光担当が行う施設整備等とも連携して顕彰事業を行う。
②アウトリーチ事業の実施	小・中学校や地域の文化施設など、身近な施設に演奏家等が出向き、ミニコンサートを開催します。また、コンサートの中で参加者が演奏に参加し、芸術文化に触れる機会を設けます。
③シビックホールでの文化芸術振興事業の実施	事業協定を結ぶ芸術団体による芸術鑑賞事業や区民参加型事業をシビックホールにおいて実施します。
④文化祭／各種発表会／若手芸術家支援	現在の文化育成事業を適宜見直ししながら、継続的に実施するとともに、若年層をターゲットとした企画から運営までも自らが実施するイベントの開催を目指します。
⑤協定締結都市等との文化交流事業	各自治体の文化や特色ある伝統芸能の紹介のほか、幅広い交流により、自治体間における市民レベルの文化的交流の活性化と、パートナーシップの領域を拡大します。

4 分野別評価

参考：24年度評価

- ・シビックホール等の文化資源や著名オーケストラとの事業提携を活用した多様な文化振興事業が実施されている点について、大いに評価できる。
- ・事業ごとのアンケートを活用した原因分析を行い、今後の文化振興に努められたい。
- ・文化祭やミュージックフェスタをはじめとする芸術事業について、出展者数や来場者数等が減少傾向にあると言えらる。広報・周知活動、環境の整備等を工夫されたい。
- ・様々な分野が連携した相互横断的な事業を新たに実施することで、これまで関心が薄かった分野に対する個人の関心を引き出し、文化芸術事業への新規参加者を増やすことができるのではないか。

参考：平成25年度評価

- ・アウトリーチ事業のように、少人数でも地味な活動が大事であり、分野を超えて気軽に、草の根を分けるように音楽を活用していくことを期待する。
- ・文化祭等では、参加者が固定化している中で、若い世代の応募や参加を増やすためのより一層の工夫に努められたい。例えば、賞の出し方に、新しい機軸を持たせる等の工夫をして行けば、参加者の広がりや意欲の高まりが出るのではないか。

平成26年度評価

平成27年度 アカデミー推進計画進行管理表（平成26年度実績）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	文化振興
-----------------------	-----	--------------	-----	------

アカデミー推進 計画における分野	3 文化芸術
---------------------	--------

分野別の目標	2 文化芸術活動を豊かにするための情報提供、相談体制の整備・充実
--------	----------------------------------

1 現状と課題

① 区民に役立つ幅広い情報を提供するため、本区の文化芸術活動に関わっているさまざまな機関が実施しているイベントや文化芸術に関する講座の情報を収集し、一元管理していくことが求められています。

② 幅広い世代にとって分かりやすく、取得しやすい情報提供が求められています。

③ 文化芸術活動に関連する区民のさまざまな疑問や悩みに対応できるよう、相談体制を充実していくことが求められています。

2 基本的な方向・取組状況

取組状況	結果資料ページ
(1) 文化芸術関連の情報収集・整理	8
(2) 分かりやすい情報提供と幅広い情報発信	8
(3) 相談体制の整備・充実	8

3 評価対象事業

事業名	事業の概要	指標達成度
該当なし		

4 分野別評価

参考：24年度評価

- ・ 広報誌スクエアについては、デザインや色味に工夫が見られ、視覚的に非常に分かりやすい。
- ・ 個々の事業が充実していることは大いに評価できるが、それらを俯瞰的に参照できるような情報提供の仕方が望ましい。
- ・ 文化芸術に関する情報提供体制・相談体制が非常に脆弱であると言える。各種関連団体や大学等と連携し、多彩なネットワーク構築に努められたい。
- ・ 情報提供の一環として臨時的相談窓口を設けるなど、参加者の悩みや疑問についていつでも対応できるような相談体制の充実に努められたい。

参考：平成25年度評価

- ・ 様々な発表の場が設定されていて、広報誌スクエアの評価も高いが、区民が全体の構成を俯瞰的に知る事が出来ないのも、その点を工夫されたい。
- ・ 区民の声を反映させたホームページ作りにより一層努められたい。
- ・ 従来のホームページにある、ピラミッド型の情報の一元化は古いので、情報に必ず検索のための紐付けをして関連付けていくことを検討されたい。

平成26年度評価

平成27年度 アカデミー推進計画進行管理表（平成26年度実績）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	文化振興
-----------------------	-----	--------------	-----	------

アカデミー推進 計画における分野	3 文化芸術
---------------------	--------

分野別の目標	3 「文の京」の文化や歴史を未来に伝える仕組みづくり
--------	----------------------------

1 現状と課題

① 文化芸術活動を楽しむ人々を増やし、裾野を広げながら活性化していくことが求められています。
 ② 文化芸術活動に携わっている人や団体を支援して、活動者の増加を促していくことが求められています。
 ③ 本区の伝統や文化、その他文化芸術分野について教え、継承していくことのできる人材の育成が求められています。
 ④ 育成した人材や地域に存在する人材を活用し、経験や知識を地域に還元していくことが求められています。
 ⑤ 区内に存在するさまざまな歴史的・文化的な資源の発掘と保存を進めていくことが求められています。

2 基本的な方向・取組状況

基本的な方向・取組状況	取組状況結果資料ページ
(1) “楽しむ人” づくりの推進	8
(2) “活動する人・団体” への支援	9
(3) “伝える人” の育成と発掘の推進	9
(4) 人材活用の推進	9
(5) 文化的な資源の発掘と保存の推進	10

3 評価対象事業

事業名	事業の概要
①区制70周年記念事業「文京区史」の発行	平成29年度の文京区史の発行にむけて、編さん作業を進めていきます。本年度は、広く区民の理解と協力を求め、資料の提供を呼びかけます。また、区史編さんを推進するため、区民と行政との協働で協議を行うために文京区史編さん委員会を設置するとともに、全庁的な連携・協力体制の構築と、区民の方の協力により、事業を円滑に進めていきます。

4 分野別評価

参考：24年度評価

- 映像資料の調査・保存事業については、事業開始から3年が経過し一定の成果を得られているが、区民等との協働や、より効果的かつ新しい周知方法を模索することによって、文化的な資源のさらなる掘り起しに努められたい。
- 歴史・文化的資源の発掘・保存に関して、個人に対する既存の周知方法に加えて、区内の大学・町会・各種連合会等を巻き込んだアプローチを行う必要がある。

参考：平成25年度評価

- 伝統芸能を見せる講座のあり方が固定化している。本格的な舞台に立てる事は魅力だが、本来の開催趣旨を踏まえて見直しも必要である。
- 伝統的なものは繰り返すことに意味があり、長期継続の事業は止めるのが難しいが、仕組み自体を学生に考えてもらう等の参加型で、伝統を生かしつつ新しい事に結び付けていく工夫をされたい。
- 文化芸術はエンターテイメント的に面白くする必要はないが、芸術の面白さや伝統を取り入れながらリニューアルをして行くよう努められたい。

平成26年度評価